

三溪園 旬通信

2013年・秋号
Sankeien Event News
2013・Autumn

公益財団法人 三溪園保勝会
〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷 58-1
TEL045-621-0634・5 / FAX045-621-6343
<http://www.sankeien.or.jp>

フォトコンテスト入賞作品展

応募総数 465 点の中から選ばれた入賞作 46 点を展示。
作品からは、四季それぞれに表情を変える三溪園の魅力や楽しみが伝
わります。

■期間: 2013年9月28日(土)~10月27日(日)

■会場: 三溪記念館・第3展示室

■料金: 入園料(500円)で観覧できます。

※作品は、随時募集中です。(応募締切り: 2014年9月1日)



初秋の古建築公開—数寄のデザイン細見 重要文化財 臨春閣

三溪園・内苑の景観の中心をなす臨春閣は、京都・桂離宮と並び称さ
れる洗練された数寄屋の意匠を取り込んだ建物。随所に凝らされた数
寄屋のデザインにスポットをあて、その魅力を紹介します。

■期間: 2013年10月14日(月・祝)~10月20日(日)

■料金: 入園料のみ必要です。

■重要文化財 臨春閣(りんしゅんかく):

建築 慶安2(1649)年 / 移築 大正6(1917)年

紀州徳川家初代藩主・頼宣(よりのぶ)が別荘として和歌山の紀ノ川沿
いに建てた数寄屋風書院造りの建築。内部には、さまざまに趣向を凝ら
した欄間や狩野派によるふすま絵など見るべき意匠が多い。



三溪園 若手アーティスト支援プログラムⅣ

KIKU REDISCOVERY—菊・再発見—

三溪園の創設者・原三溪は、新進の芸術家を物心両面にわたり支援し
た“芸術のパトロン”としても知られています。三溪の援助を受けた彼ら
はその後一家をなし、近代日本文化の形成・発展の担い手として広く
活躍を果たしました。

財団設立 60 周年を記念しおこなう、この若手支援事業は、創設者・三
溪のこうした精神にならい三溪園を発表の場として無料で提供するも
ので、第4弾となる今回は、フラワーデザイナーグループ“F-connect”に
よる菊をテーマとした作品の展示です。期間中、展示会場の周辺では
菊花展も開催中(初日を除く)。伝統的な菊花が周辺を彩るなかで、若
手4名が紡ぎだすフレッシュな感性光るフラワーアレンジメント作品が
展示されます。

■日時: 2013年10月25日(金)~10月27日(日) 10:00-16:30

■会場: 旧燈明寺本堂(きゅうとうみやうじほんどう)

■料金: 入園料のみ必要です。

■出品者: F-connect

花卉装飾の活動をとおり、花の普及をめざすフローリストグループ。
長尾真里菜氏・木月利彦氏・角谷佳剛氏・吉田竜希氏の4名で構成。



菊花展

日本の秋を代表する花・菊花約500点を展示。大菊や懸崖・小菊盆栽
などレパートリー豊かな世界が楽しめます。特に江戸時代から各地で改
良、伝えられてきた古典菊は珍しく、見どころです。

■期間: 2013年10月26日(土)~11月23日(土)

■会場: 正門藤棚付近、中央広場、旧燈明寺本堂

■料金: 入園料のみ必要です。

■協力: 横浜菊花会 / 小菊盆栽芸術協会会長生会

■関連事業:

*園芸相談

日時: 期間中随時

*菊花展みどころトーク

出品団体の横浜菊花会メンバーが、菊花の種類や観賞ポイントに
ついてわかりやすくガイドします。



日時:期間中の土・日曜日の
11:00- / 13:30- / 14:00- / 14:30-
※11月3日(日)は、11:00- / 13:30-の回はあります。

所要:15分ほど

参加費:無料。入園料のみ必要です。

*苗の販売

日時:期間中の 10:00-15:00

場所:大菊 中央広場 / 小菊 正門藤棚付近

※販売はなくなり次第、終了となります。



今村紫紅・護花鈴(部分) 霊友会妙一記念館蔵

財団設立 60 周年記念特別展 今村紫紅展 —横浜のいろ

三溪園の創設者・原三溪は、製糸業・生糸貿易業で財を成した実業家であるとともに、多くの新進芸術家を支援した「芸術のパトロン」としても知られる人です。本展では、三溪が支援した日本画家の一人・今村紫紅を取り上げて、その作品 50 点を紹介します。

紫紅は、横浜に生まれ育ち、それまでの日本画の世界に新風を吹き込んだ若手画家のグループ「赤曜会」を組織し、その中心となって活躍した人物です。将来を大いに期待されましたが、30 代の若さで惜しくも他界しました。歴史画や文人画という日本の伝統的な画題やジャンルの絵を描きながらも、各作品には色彩や構図にどれも新鮮な感覚がみえ、現代にも通じる先進的な才能が感じとれます。

横浜そして三溪園が育んだといえる日本画の世界を庭園の散策とともに楽しめます。

■期間:2013年11月2日(土)~12月8日(日)

■会場:三溪記念館

■料金:入園料(500円)のほかに特別展観覧料(500円)が必要です。

入園料 + 特別展観覧料セット券 800円(入口でのみ販売)

こども(小学生)は、無料。(入園料のみ必要です。)

※横浜美術館との相互割引プラン…横浜美術館(横山大観展・下村観山展)と三溪園(今村紫紅展)相互のチケット提示により、一般(大人)料金が100円引きとなります。

■展示作品数:50点

■主催:三溪園/後援:横浜市/助成:公益信託ヨコハマ中区まちづくり本牧基金/協賛:本牧まちづくり会議/協力:横浜美術館



紅葉の古建築公開—物語のある古建築 横笛庵、林洞庵

平家物語、忠臣蔵にゆかりの2棟の内部を、建物の沿革・由緒などとともに紹介。紅葉越しに三重塔を望む絶景が楽しめる内苑・聴秋閣奥の遊歩道も合わせて開放します。

■期間:2013年11月23日(土・祝)~12月15日(日)

■料金:入園料のみ必要です。

■横笛庵(よこぶえあん):

建築 明治41(1908)年

奈良・法華寺からの移築ともいわれるが、詳細の由緒は不明の田舎家風の草庵。平家物語に登場する悲恋の女性・横笛の像が内部に置かれていた(戦時中に消失)ことから、この名がある。

■林洞庵(りんどうあん):

建築 昭和45(1970)年

宗偏流林洞会から寄贈された茶室。内部に流祖・山田宗偏の揮毫による「林洞」の額が掲げられていることからこの名がある。山田宗偏は、忠臣蔵に登場する吉良上野介と茶を通じて交流があった人物。

また林洞庵が建つ前、同地には三溪が移築した寒月庵(かんげつあん)があった。この建物は、かつて赤穂藩出入りの江戸の豪商・河村伝左衛門が所有していた草庵で、元禄の頃(18世紀)大石内蔵之助がたびたび遊んだと伝えられるものだったが、現存しない。

コラム

ハロウィン@三溪園

三溪園がある本牧地域には、戦後米軍住宅があったところにハロウィンが地元日本人の間にも広まりました。

この横浜らしい行事をもとに昨年地域のイベントとして企画・開催されたものが「本牧かぼちゃまつり」です。第2回目となる今年も三溪園もこのイベントに参加、スタンプラリーのゴール地点となるほか、楽しい関連イベントも待っています。ハロウィンには仮装して参加しよう!

●日時:2013年10月26日(土) 11:00-16:00

●ハロウィン@三溪園:
*仮装スタンプラリーのゴール地点…スタンプカードの提示で、入園料が無料になります。
*関連イベント・イラストレーター稲葉まり氏による短編映画の上映…園内・旧矢筈野原家住宅(合掌造り)内を会場に、約10分。入場無料。だれでも自由にご覧になれます。

●お問い合わせ:本牧地区センター TEL045-622-4501

花だより

ノギク 9月上旬~11月下旬 / ススキ 9月上旬~10月下旬 / ホトトギス 9月中旬~10月下旬 / モミジ・カエデ(紅葉) 11月下旬~12月中旬 / イチョウ(黄葉) 11月中旬~12月中旬

※天候により、開花時期が変わることがあります。